

安藤哲也さん講演内容（一部抜粋）

演 題：「女性活躍推進が社会を変える

～少子化・女性活躍・大介護時代におけるイクボス式マネジメント～」

■はじめに

女性活躍を達成するには、女性だけの意欲や頑張りだけではなかなか難しく、女性がいきいきと活躍できる労働環境が必要です。つまり、働き方を見直していくことがとても重要です。これは女性だけの問題ではありません。これからイクメンも増えていくでしょうし、介護の問題も深刻になってきますので、男性も含めた働き方をどう変えていけるのかを我々は考えなければいけないということだと思います。

今までの働き方を変えていくキーパーソンが上司です。これが今日のテーマの「イクボス」です。イクボスのイクは育児の育だけではなくて、さまざまな家庭の事情を抱えている部下を守り育て、それによって組織を育てるということです。

■女性活躍とイクメンとイクボスは3点セット

育休の長期化や役員の女性の数を増やしていくということについて、ただ女性だけに頑張れ、頑張れというだけではだめなんですね。ヨーロッパがやったように、男性の育児参画・家事参画を促していかないと難しい。そして、それは、できるだけ残業のない働き方に職場を変えていかないとできないことです。そうした中においても目標の業績を達成させるのがイクボスであって、この会社にいれば仕事も子育ても介護も両立できるんだなと女性も男性も思えるようになっていく、ここが重要なわけですね。

私がいつも言っているのが、「女性活躍とイクメンとイクボスは3点セットです」ということです。ですから、皆さんの所属する職場では、女性活躍だからといって女性にだけ研修をしてはいけません。それだけでは無理なんです。男性の社員あるいは管理職の意識を変革できるような研修やセミナーを繰り返し行うことが重要だということです。

■笑顔あふれるふくしまを願って

これからはイクボスが好循環をつくった組織が生き残っていきますし、こういう企業では子どもを産み育てやすい状況になっていくと思います。

かつては終身雇用で、忠誠心をもって働き、職場の言うことを何でも聞くというものでした。でも、これからはやっぱり子育てや介護の状況になったときに、会社が支援してくれるという信頼感がないとだめだということです。会社が個人にどういった支援をできるかが問われていますし、同時に、個人は会社はどうやって貢献できるかという、支援と貢献の関係性の中でしか人は幸せにならないし、会社は成長しないということを、ぜひ皆さん捉え直していただきたいなと思います。

今日は「ふくしま女性活躍応援宣言」が発表されました。福島でも、今日をキックオフにして、働き方を見直そう、子どもを産み育てやすく女性が活躍できる社会にしていこうというムードが高まり、イクボスが増えて笑顔が増えることを願っております。

（1118字）